



ふみづき  
**文月号**

NO.140 2012.7.10号

Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号484号  
 発行/2012年7月10日(毎月10日発行)  
 編集者/我妻 武  
 住 所/〒063-0812  
 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F  
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
 H P <http://npolife.net/>  
 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会  
 定 価/100円

# 赤い羽根共同募金より 車両をご寄付頂きました。

下斗米 貴行

赤い羽根共同募金に車両購入のための助成を申請したところ、決定となり、6月12日に納車となりました。

ライフでは年々事業所が増え、日中の活動では清掃事業、飲食事業、配達、利用者の送迎で毎日車を使います。そのため車がたりなくなる時があり、申請してみようということになりました。

東日本大震災の復興などがあるなかでの助成申請だったので、厳しいかなと思いましたが、助成の決定をしていただき、大変助かりました。

納車になってからは、以前よりも効率よく動けるようになりました。

今後は就労支援やさまざまな事に助成車両を活用していきたいと思えます。ありがとうございました。



## 運転した方の感想

まず、内装が非常にカッコいいです。黒を基調としたシックな雰囲気です。間違っていて自分までカッコよくなったかのような勘違いをしてしまうくらいです。それに合わせて機能的。

今までのライフの車には荷物が乗って移動ができれば良いくらいの気持ちでしたが、この車に乗ると違いが歴然。また、エコ車のエンジン音の静かさにも驚きです。

新しい車に乗れる楽しさと、仕事の納品や配達など、足の軽い動きが今まで以上にできる喜びで良いことだらけです。本当にありがとうございました。



第 5 回

# 政策入札研究フォーラム

## 《障がい者の雇用を広げよう》 in 札幌

定員 **200 名**

※定員になり次第締め切らせていただきます。

日時

2012年 7月16日月

13:15~16:00 参加費 1,500円

場所

北海道立道民活動センター

《かでの2・7 大会議室》 問 011-204-5100

札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

パネリスト ~panelist~

富田 一幸氏 (とみた かずゆき)

エル・チャレンジ理事長



大阪市(株)ナイス代表取締役。大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合(エル・チャレンジ)理事長。部落解放同盟大阪府連合会西成支部支部長。NPO福祉のまちづくり実践機構代表理事。有限責任事業組合「大阪職業教育協働機構」職務執行者。NPO釜ヶ崎支援機構理事。

吉村 臨兵氏 (よしむら りんべい)

福井県立大学 看護福祉学部/社会福祉学科教授



労働市場に関する研究(生活保障型の最低賃金制、建設やサービスの事業における請負・派遣・業務委託、それらの就業人口など)・公共サービスの労働に関する研究(現行の民間事業者選定方式の問題点など)。

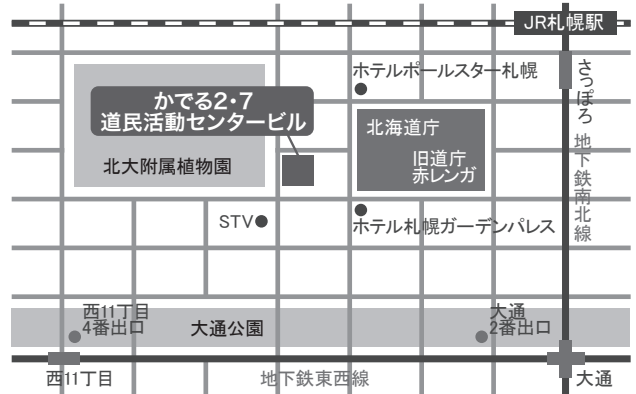
鯖江市介護保険利用者擁護委員会委員(平成18年~)。大阪地方自治研究センター理事(平成12年~現在)。日本建築学会建設産業小委員会委員(平成13年~現在)。大阪府福利厚生措置事業(いわゆる「モチ代・ソーメン代」)あり方検討会議委員(H14年~H16年)。

小松 伸多佳氏 (こまつ のぶたか)

国際公認投資アナリスト



1989年早稲田大学政治経済学部卒後、(株)野村総合研究所入社。証券アナリスト(CMA)、国際公認投資アナリスト(CIIA)、ベンチャー・キャピタリストとして、運輸、建設、不動産、アウトソーシング・サービスなどの内需型サービス産業等を担当し、通産省アウトソーシング委員会委員等を歴任。2005年独立し、複数企業の役員を務めるとともに、日本初のLLP(有限責任事業組合)によるベンチャー・キャピタルを創始。(社)関東ニュービジネス協議会の研究部会長として経営者教育の教壇にも立つ。最近では、内閣府規制改革会議や厚生労働省の障害者雇用の外郭団体を通じ、各種の政策提言を行うほか、2008年12月には企業経営関連の実践書を東洋経済新報社から出版するなど多方面で活動している。



### 政策入札研究フォーラムとは

大阪ビルメンテナンス協会とエル・チャレンジは2007年より「障がい者雇用支援スタッフ養成講座」や「社会貢献セミナー」など協働事業として「障がい者等雇用促進事業」に取り組んできました。

これまでも、自治体契約物件の入札制度の研究を行い「総合評価入札」など障がい者等が働きやすい制度を広げる取り組みを進めてきました。

政策入札研究フォーラムは、全国の仲間に呼びかけて「働きたいを支援「エル・チャレンジ方式」」「育てる入札「総合評価入札」」「新雇用産業」振興のための、積算基準の抜本的な見直し」を国や自治体に求めたいと考えています。

《主催》

一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会 / 大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合(エル・チャレンジ)

【共催】特定非営利活動法人札幌障害者活動支援センターライフ

【後援】全日本手をつなぐ育成会 / 全国ビルメンテナンス協会 / 共同連 / ソーシャル・ファーム・ジャパン / ホームレス支援全国ネットワーク等予定

事務局:エル・チャレンジ <http://www.l-challenge.com/forum/forum.html>

大阪市中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館5階 TEL(06)6920-3521 FAX(06)6920-3522 (担当)丸尾亮好(エル・チャレンジ事務局長)

お問合せ先 NPOライフ本部事務局 TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323 (担当)石澤 E-mail:honbu@npolife.net



NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

# こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5  
マンションMOM0102  
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323  
kokoroya@npolife.net

お米精米・販売  
チラシ折り  
封筒詰め作業  
箱折り  
シール貼り  
清掃委託業務

**スローライフ マイライフ**

**小黒 悠佑**



子供の仕事は遊ぶことだといひます。遊びの中に人生のいろいろ大事なことが沢山あって、子供の純粋な感受性がそれらを深く感じとることができるからでしょう。では、人間の仕事って何でしょうか？会社に勤め社会に還元されることだけが仕事なのではないでしょうか？社会人としての仕事と、その人間一人ひとりの持つ特別な意味での「仕事」があるのではないのでしょうか。

こころやはいろんな人が通い仕事をしています。精米や軽作業などの仕事はもちろんですが、それとはまた別の「仕事」を皆さんは持っています。例えば、川村さんの特別な「仕事」は、寝ている人を起こす仕事です。起こすといっても無理やり起こすわけではなく、ディジリドゥという長い棒の楽器を使い、それに口を当て「ポポポ～ポポ、ポポポ～ポポ、な～んじだとおもってるんだ～」と浪曲風？に歌って相手を起こします。その異様なシーンはもはやこころやの名物となりつつあります(笑)



「仕事」は本来その人間の人柄がにじみ出るもの、これからもこころやの特別な「仕事」を紹介していきます！

**日々思うこと**

**富橋 祐太**

私がこころやに入ってから2か月がたちました。まだまだ日が浅くわからないことが多い中でも、先月末には工賃倍増計画の打ち合わせの席に参加し、こころやのこれからの方向性を確認することができました。



6月2日には定期総会や感謝の集いに参加し、普段交流が無い他の事業所の方とお会いすることができました。深澤前理事長に感謝すると共に、ライフをより良くしていけるよう私も頑張らなくては、という気持ちになりました。

こころやの日々の作業の中でも一人ひとりそれぞれの得意なことや苦手なことがわかるようになり、みんなの力を合わせて業務を進めることの連携の難しさや、仕事に対するスタンスの違いなども感じながら、日々考えて奮闘しております。

また、6月から新しく広報さっぽろの配布の仕事も始まり、事業所の外に出でできる仕事が増えたのでより一層頑張っていきたいと思ひます。

**さらあらった**

**嬉野 健人**

ポットあらいをしました。せんたくをあらった。へやそうじをしました。べつとをした。さらをあらった。はしをあらった。スプーンをあらった。ストーブをふいた。けんがん(玄関)をふいた。はみかきをしました。かおをあらった。とけソデ(ひげそり)をふいた。カキをしめた。

**おびの仕事**

**山崎 健一**

おびのれんしゅうをして、うまくできるようになったらひとりおび(止め)をしたいです。

**まちかど荘について**

**松村 亨**

みんなと話をしたり、テレビを見たり、後は食事をします。これからもずっとみんなと仲良くくらしたいです。



**札幌市リユースプラザ**〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10  
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155**札幌市リサイクルプラザ 発寒工房**〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30  
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816<http://www.reuseplaza.jp/>**「環境・リサイクル事業部は大忙し!!」**

ライフの環境事業部の発寒工房とリユースプラザでは、連携を取りながらイベント、講座を開催。各担当の活発な活動のようすの報告です。

**『第15回定期総会に参加して』**

リユースプラザ 工藤 昌幸

総会で議案書を読むと、今後リユースプラザではイベントや講座を数多く開催すると書いていました。忙しい日々が続くことが予想され、自分としては忙しさに負けないよう頑張る決意をしました。

午後からの会食会では、各事業所のアピールがあり楽しいひと時を過ごすことができました。

一番印象に残っていることが「まちかど荘」の人たちの「まちかど荘ブルース」でした。

リユースプラザで一緒に働く西田大作さんがギターを演奏し、住人の人たちが歌ったことです。

**リユースプラザ『家具修理教室』**

講師：発寒工房 平野 豊阿喜 岩船 聖明

去る6月9日(土)リユースプラザにて「家具修理教室」が開催されました。

出席者は4名と少ない人数でしたが参加者は「家具修理を学びテーブルの塗り替えや食卓椅子の張替えをしたい。」と目的を持ち意欲的な方々ばかり。

工房から講師として平野・岩船の2名と、枇杷木くんがアシスタントで行きました。椅子とテーブルに分かれて、マン・ツー・マンの講習。熱い質問が飛び交いました。参加者から「定期的な教室開催の希望」「自宅の家具を持ち込み、修理方法を教えて欲しい。」の要望のほか、リユースプラザには西区方面の教室開催の問合せがあることを聞いて、「発寒工房で、以前やっていた家具修理教室を再開したい!」と宣言。家具職人魂に火が付きました。近日中に、実施されることでしょう!

ライフの皆さん、その時は参加して下さい。上質の家具を買って、手入れや修理で長く使うことも「リユース」です!



座面の張替えのコツ 伝授中!

子供たちをそっと見守る坂本さん

**環境イベント『てらこや・リユース』**

発寒工房 坂本 倫子

6月15日(金)～17日(日)の3日間開催、期間中543名が来館しました。

環境月間、キャンドルナイトのこの時期、NPO法人キャンドルハウステレジアさんの協力を得て、手作りキャンドルの作成や環境に配慮したワークショップでにぎわいました。

私はキャンドル作りをお手伝いしました。いろんな色や形の細かいロウソクを紙コップの中に入れて、最後に溶かしたロウを流し込むだけと、とっても手軽にできるキャンドルなのです。今回は大人も子供もたくさんの方が参加してくれました。みなさんが作っているところを見ていると、大人はどうやったら綺麗になるだろう?とか、インテリアに合うような色合いなどを考えて作るので時間がかかるのですが、子供達は直感的にどんどん入れていくので、とても独創的なものが出来上がるんです。子供の純粋な心を感じた瞬間でした。私も1個作らせてもらいましたが…うん。きっと独創的なはず!!! (笑)

北海道神宮祭、寒さ、雨の三重苦に見舞われましたが、出展者、来館した市民、子供たちが笑顔で「また来るね!」と言ってくれました。また、たくさんの子供達の笑顔を見る日を楽しみにしたいと思います。

7月は、『ともども夏まつり』です。アドボケ購読者の皆さん、イベントへのご参加お待ちしております。

### リサイクルプラザ宮の沢主催 「ごみ処理施設見学会」に参加して

発寒工房 枇杷木 勝文

駒岡清掃工場と資源選別センターを見学しましたが、とくに印象に残っているのは、びん・缶・ペットボトルの選別作業場です。たくさんの人達が手選別しているなんて知らなかったのが驚きました。ものすごいスピードで選別している人もいました。ごみを出すことは簡単だけれど、それをリサイクルするにはたくさんの手間がかかっているんだなと思うと、少しでもごみを出さないようにしたいと思いました。

リユースプラザ 森 絵津子

私は最近「ごみ」として捨てないで、再生資源に戻す『リサイクル』を意識していました。今回の見学で、ごみになるものを、買わない、持ち込まないの『リフューズ』の重要性を強く感じました。

今、最も削減を迫られている電気の使用量、CO2削減、資源物選別に係る多額の人件費につ



精密な駒岡清掃工場のジオラマ

いて深く考えさせられました。

私たちが、少しでも『ビン・缶・ペットボトル』の使用量を減らすこと、汚れを落として正しく分別して出すことで『電気・CO2・人件費』が削減される。そう強く実感した施設見学でした。

### 下水道科学館『木工工作教室を担当して』

リユースプラザ

西田 大作

6月16日、17日の2日間、出張工作教室を初担当しました。

「下水道科学館開館記念イベント」でクリ「どう?」~「上手にできました!」ンちゃんジグソーパズル教室、キャラクターマグネットづくりコーナーを行いました。ボランティアの先生方との教室は2回目ですが、出張は初体験。



下水道科学館といえば、昨年9月のフェスティバルのすごい人数が…。そこまではいきませんが、来館者数は多い!参加者は2日間通して、ジグソーパズルに61人、マグネット120人。完成した時の子供たちの笑顔が嬉しい工作教室でした。

小学生以下のパフォーマーを応援します!  
**キッズパフォーマンス**  
厚別バトン&V.A.バトンチームほか  
※バトンのパフォーマンスは【午前の部】になります。

ともどもバザール

福祉バザー  
手づくり品やパン、クッキーなどを販売します!

フリーマーケット  
ともどもネットの参加団体が出店!

フリマの売り上げの一部は復興支援のために被災地へ寄付します!

# ともども夏まつり

入場無料 札幌市リユースプラザ 検索

7月21日(土)10時~15時

ともども食堂 夕丼・うどん・サンマルコ食品の揚げたてコロッケ  
ココロラの飲み物 など

ともども緑日 ヨーヨー釣り・お菓子釣り など

エコを楽しく学ぼう  
子ども対象・無料 **4Rクイズ**

地球環境を守るために大切な、札幌市の4つのR(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)について、楽しくクイズに答えながら、ペンきょうができちゃうよ!

参加者には景品をプレゼント

エコな簡単工作! 子ども対象・無料

ペットボトルとDVDで **ホバークラフトづくり**

不要になったペットボトルとDVD…ゴミにする前に工作で変身させちゃおう!

当日整理券を配布します! 先着 **20**名

**リユース自転車抽選会**  
【大人用自転車】5台限定即売!

(提供:リサイクルプラザ発寒工房)

- 13時から…《抽選券配布》
- 13時45分…《投票締め切り》
- 14時から…《抽選会開始》

※抽選後、即日引渡しとなります。抽選会には立会いをお願いいたします。



アウトソーシングセンター  
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74  
市民活動プラザ星園 103  
TEL 011-596-6581  
FAX 011-596-6582  
E-mail:genki@hatarakutei.jp



## ☞ 複数の事業所の連携で ☜

所長 織本 義昭

ここのところ日本の政界があわただしく動いています。勝手にやってくださいと言いたいのはやまやまですが、現実の私たちの今後を左右するとするとそうもいってられず、悩ましい限りです。

悩ましいといえば最近札幌では雨がふっておらず、そのおかげでネコのヒタイほどの庭に水をまくのが早朝の日課となり、心なしか草花も喜んでいようです。人の世にも我が家の庭にも、もしかしたら我が家庭にも「うるおい」が必要ですよね。

### — 共同受注、共同作業をめざして —

元気ジョブがスタートして2年半がすぎようとしています。いままで企業・札幌市などからの発注とその仕事を受け入れてくれた事業所の協力があって、おかげさまで630件の成約を獲ることができました。しかしその陰には、作業の条件がどうしてもあわず残念ながら不成立となった案件も少なくはありません。

たとえばその業種によっては日曜日を除いた土曜日・祝日の作業、また1日6時間の作業を希望する企業もあります。おまけに週6日毎日同じ人数で作業してほしいとなると、職員・メンバーの配置の現状からいってとてもハードルが高いものにならざるをえません。

こういうときもジョブとしては、どのような条件だったらお互いに仕事が可能なのか、一つの事業所で無理であるならば複数の事業所で対応してできないだろうか、ということ常々心掛けてきました。

仕事を出す発注者側の要求に答えていくためには、一つの事業所の単位で考えるだけでなく、複数の事業所が連携をとりあいながら仕事することがどうしても必要になってきています。

個別事業所において仕事の忙しい時期とちょっとヒマな時期がどうしてもあり、その時々作業を調整しあいながらコンスタントに仕事を確保することが望まれます。

昨年末、大通の地下歩行空間での「まちづくり博」に6か所の事業所が参加しました。1つのブースではお客は立ち寄っていきませんが、3つのブースを設けることによって、相乗効果が発揮され集客できました。

最近もある運送業者さんから7点封入で7万5千部の仕事をいただきました。それも10日間で納品という、一つの事業所では全く手に負えない量でした。この大きな仕事も6か所の事業所の長年培ってきた連携・信頼関係があったればこそ引き受けることができたのです。これは発注した運送業者さんが事業所間のその均質化した作業能力と組織力を評価した結果でした。

そもそもこのような共同受注、作業をコーディネートする大きな役割を果たしていくものとして元気ジョブは生まれました。

今後も1つひとつの小さな仕事を大切にしながら、受注センターとしての役割を果たしていきたいと思っています。

なによりも「仕事をひきうけて良かった」という職員・メンバーの笑顔を見たいものです。





NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
**共働サービス たねや**  
 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32  
 テラ二十四軒1階  
 TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
 taneya@npolife.net

- ・出張販売
- ・配送業務
- ・チラシ折り
- ・封筒詰め作業
- ・箱折り・シール貼り
- ・清掃委託業務
- ・その他委託業務

『 みんなで成長しています。 』

奥井 忠宏

これから夏本番、おかげさまでたねやでは土日を含むバザーへの参加機会が増えています。メンバーもいつもとは違う場所で、違うお客様と話すということに不安を感じながらも、それを超えるやる気と好奇心を持って参加してくれています。

来店されるお客様も増えているのもあってか、それぞれ「苦手だった仕事」も含めて積極的にチャレンジしてくれています。お店のことをみんなで考えるのが楽しい今日この頃でございます。

☆ たねやイチオシ 今月のオススメ!!! ☆



マイルド・スパイス 1.5人前 350g  
香(スパイス)の小袋付き 各 600円

仙台市 わらしべ舎 西多賀工房  
**桜蔵 チキンカレー**

ホロツとやわらか鶏足一本をじっくり炒めたペーストと特製ブイヨンで仕上げた「桜蔵(さくら)」のあとひく本格カレー!!私自身、このカレーは両方の味を頂きましたが、辛いのが苦手な私でも食べやすいカレーです。しかも鶏足一本入っていて1.5人前♥たくさん食べる私を満足させてくれる強い味方です。東北応援イベントで、この商品は活躍しました。是非、皆さんもこのカレーを御賞味下さい!!  
byシマ

『 あげぼのの清掃の1日 』

増田 真理子

あげぼのの清掃の1日をくりかえします。

夏は虫がいっぱいます。虫がいたら外でにがしたりティッシュ(トイレトペーパー)で虫を取る事です。

夏休みになると人がいっぱいいて掃除がやりにくかったです。あとは床がよごれてました。冬は水道が止まって、トイレも止まってました。トイレそうじする時にトイレの水流すのがこわくて大変でした。床にも水もれていました。あとは洗面所も水もこわくて大変でした。1番大変なのは夏と冬です、今度から火曜日から金曜日にかわりました。今度から金曜日は2か所清掃に行くので、金曜日の2か所がんばります。



『 出張販売 』

井口 真二

出張販売で星園に行きました。いろいろな商品を見てもらい、買ってもらううれしかったです。また、行きたいです。

『 価値あるもの 』

中井 学

たねやでは食品、飲料水、雑貨(海外の発展途上国等で造られた物を公正な価格で取引されたフェアトレード品等)を扱っていますが、今回は食品のことを少々。これらの食品は有機の材料を使うなど、体に優しいものですが少し他のメーカーの物と比べれば高い。でも、高いだけの価値は私自身絶対にあると思うのですが知名度が少々低いと私は思う。とにかく一度食べて頂ければ納得していただけると思うので、おためしあれ♥



就労継続支援事業A型  
共働事業所

・印刷物版下制作・製本  
・ポストイング・DM発送  
・その他の軽作業

# きばりや



やればできるさ！！

上神田 一朗

入社してから2か月が経ちましたが、もっと前からいるように思えるくらい色々なことがありました。苺のほうは一難去ってまた一難で、決して順調だとは言えないのですが、そのおかげで色々な病害虫や育成状態を経験できているので良い勉強になっていると思います。

今年始めたばかりの新事業ですが、私は今年成功させたい。成功させるつもりでやることはやっていきたい。そうなると限られた時間の中でどれだけ濃い時間を過ごして、多くの気づきや学びを得るか、強制ではなくて自らの意思で。やる前から諦めずに挑戦し、個々のステージをみんなが一步步ずつ登っていくことが大事なのではと思います。誰か1人が頑張るのではなくて、各々自分の能力を最大限に発揮する。何かひとつでも自分の得意な分野を見つけていきたいです。

私ももっと成長して一緒に働いていけたらと思います。昨日より今日、今日より明日。やればできるさ！で。これからもよろしくお願いします！



## 深澤前理事長感謝の集いの司会をつとめて 織本 亜哉子

司会者として、奥井さん、山口さんと私が担当しました。3人で司会者の打ち合わせをして順番を決め、集まったみんながどうしたら面白楽しく集いの会を2時間過ごせて頂けるか考えました。

その集いにお酒が用意されていたこともあり、少々不器用な司会者3人でしたが、みんなすごく楽しく過ごせて頂けたようでした。

盛り上がったのは、各場のパフォーマンスを順番に発表していく際の共同住宅まちかど荘のみんなで歌った「まちかどブルース」で、“ドッカーン”と一気に会場が沸きました。

最後にみんなで一生懸命、障害の有無関係なく仕事をずっとがんばっていきましょうと言って、時々司会者として声があっただけのことあったけど、会場内の笑いが耐えることなく無事に終らすことができました。

## 旅行

渡邊 重治

今、北海道以外で旅行に行きたいと思ってるところは、東京スカイツリーに行きたいと思ってるんですが、いつごろまで予約制なのかと、何に乗って行ったら分かりやすく行けるかなと思っています。

## 共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

## Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F  
TEL/FAX : (011)758-6533

## カフェに来て1年

カフェ 大島 隆也

僕は、カフェのスタッフになって今月で1年になります。最初の時に比べると慣れてはきましたが、まだラッシュやレジで苦労することがあります。

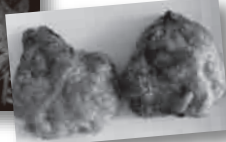
今年1年でそういうミスを少なくできるように頑張りたいです。

## ~cafe de きばりやより~



玉ねぎと  
全粒粉の  
ビスケット

2個入 120円



初夏の風が気持ち良い季節。冷たいコーヒーやジュースもおすすめですが、カフェの手作りお菓子もおすすめです。

バターと玉ねぎの優しい甘さ。おやつにも軽食にもいかが♪  
リピーター続出!!『食べるスープみたい!!』と大絶賛の声も☆





**コン・ブリオ ひだまり**  
 〒063-0812 札幌市西区琴似 2 条 3 丁目 2-37  
 サンハイム 1 階  
**TEL 615-4131 FAX 615-4132**  
 E-mail : konburio@nplife.net

暖かくなってきましたね。そうめんを食べることも多くなりましたが、この時期はどんな料理にして召し上がっていますか？ サラダならマヨネーズ、ポン酢、フレンチドレッシング、ごまマヨ、どんな味でも美味しいです。また、シーチキンを麺つゆに入れて食べるのもオススメです。たっぷり野菜をのせてお好みの味でいただいでください。



**☆キッチンレシピ! ☆**



**～ かぶのえび詰めあんかけ ～**

**☆材 料☆**

かぶ ..... 4 個  
 えび(むき身) ..... 120g

**A** 長ネギ(みじん切り)… 大さじ 1  
 塩 ..... 少々  
 砂糖 ..... 少々  
 生姜汁 ..... 少々  
 酒 ..... 小さじ 2/3  
 片栗粉 ..... 小さじ 2/3

だし汁 ..... 2 カップ  
 塩 ..... 小さじ 3/4  
 砂糖 ..... 大さじ 1  
 しょう油 ..... 小さじ 1  
 片栗粉 ..... 小さじ 1  
 生姜のおろしたもの ..... 適宜

- ① かぶは茎を 2cm 残し、葉を切り落とします。茎から 5mm のところを切り、茎は取りよけます。
- ② スプーンでかぶの中身をくりぬき皮をむきます。
- ③ えびは、背わたを取り除いてから細かく刻み、ボールに入れます。
- ④ A を加えて混ぜ、4 等分にしてかぶに詰めます。
- ⑤ 鍋にだし汁を入れて煮立て、塩と砂糖とかぶを加え、落し蓋をして弱火で 7 分程煮込み、さらにかぶの茎を加えて 5 分程煮ます。
- ⑥ しょう油を加え、さらに 2～3 分煮こみ、器にかぶを盛りつけます。
- ⑦ 容器に水小さじ 2 と片栗粉を入れ、水とき片栗粉をつくり、煮汁に入れ薄くとろみをつけ、かぶにかけて生姜をのせて出来上がりです。



**熊谷 新**

皆様こんにちは。コン・ブリオひだまり新人の熊谷 新です。4 月に入って 2 ヶ月経ちましたが、毎日店内清掃、店番レジ打ち弁当配達、おかず配達で忙しいですが、お店のために精一杯頑張ります。他(ライフ)の事業所のメンバースタッフさんの名前も覚えられたので、今度お時間があるときにぜひひだまりにお食事に来て僕の元気で笑顔のある接客にいやされてみてはいかがでしょうか。こちらよりお待ちしております。

**吉川 卓哉**

ふかざわさんのパーティでヘビーローテーションをおどりました。たべものがおいしかった。みんないました。たのしかったです。

**伊藤 美由紀**

私は水曜日に星置養護学校に外販に行っています。いつも先生がたが一杯買ってくれるのが嬉しいです。いつも島 明子さん 奥井 忠宏さんと仕事できて嬉しいです。



# ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 ヘルパーステーション 繭結

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒 1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

## 『生活保護』

管理者 笠井 衛二

お笑い芸人の生活保護受給母が昨今を騒がしている。息子であるお笑い芸人の年収は5千万もあり扶養出来るのに扶養せず、扶養義務違反との指摘がある。まあ、おっしゃる通りでご正論、異議を挟むものではない。

でもその芸人のお詫び会見も、首を狩った某議員のコメントも弱者排除の視点でしかない。お笑い芸人は「生活保護、恥ずかしい」と生活保護を受けていた事が恥と陳謝したし、某議員は生活保護より扶養義務が最優先、と保護受給に更なる足枷を強要した。

この結果はどうなるのか。保護を受けたい境遇の人に、生活保護は恥という圧力となるし、扶養義務が優先という家族義務の徹底は、家族の崩壊を孕む結果となり、家族と疎縁な潜在的な生活保護必要者を足止めさせる。

札幌市でこの冬、姉妹が死亡した。姉が病死、障害の妹は餓死。不幸な事件の真中に生活保護がある。これを地元のTVが特集を組み5月26日に放映した。

番組で執拗に追求したのは、3回の相談でも保護受給に至らなかった保護課の対応である。保護申請にならない理由を役所は「本人が申請をしなかった」と弁解したが、それは違う。保護受理は相互の理解を必要とする契約ではなく、役所が決定できる措置であるからだ。必要があれば保護する、が生活保護の背骨である。

だが役所にも極少の意が見える。それは世間の評である。働けるのに保護を受けている。遊んでいる人が保護を受けている。

役所は甘い、なにしてる、と叱咤・非難はあたりまえ。担当者は委縮し、怯え、ミスのない事務を目指す。それは遺漏のない事務であって、漏れない生活保護ではない。

結果、敷居の高い窓口となるのだ。誰でもが受けられる生活保護、になるためには例えば、10件の保護申請に3、4件灰色が混じっていたとし

ても、市民、行政ともに全件を受け入れる度量がほしい。その中には、保護が必要だが申請出来なかったケースが必ずある。必要なケースだけを選別するのは不可能、と思っている。不正があれば厳罰にすればいい。

お笑い芸人の笑えない出来事で、生活保護の扉は重くなり、保護受給者は肩身の狭い社会となる。

不正受給など大した問題ではない。生活に困っている人が、困っていると言えない社会が恐ろしい。そしてなにより、生活保護者が急増している原因は、長引く不況や年金制度の欠陥、という政治の貧困からきている。自分らの政治の責任には知らぬ顔で、制度の隙間に声を荒げる恥知らずの某議員は、すでに犯罪者だ。

そのTV局の生活保護特番に元市職員として私が出演した。私は実名で出るといったが、TV局は否とし、端整な顔は映らず匿名のまま。それだけで、内容以上に不満な番組となった。

## お知らせ

ヘルパーステーション繭結(ゆい)では、  
ホームヘルパー(1級または2級ヘルパー資格保持者)を募集しております。  
まずはお話だけでも聞いてみませんか?  
ご応募お待ちしております。

【勤務先】 西・東・北・厚別・白石の各区

※勤務場所への直行直帰可

【資格】 経験不問、学生さんもOK、ブランクがある方・未経験・勉強中の方も歓迎


【時間】 7:00~24:00の間で  
2~6時間位、週1~6日の勤務

【給与】 時給850~1,200円以上、交通費規定

【応募】 電話の上、写真付履歴書ご持参下さい。





★勤務先・時間・日数等、ご希望に合わせます。


【連絡先】 Tel:011-623-2505(佐々木・笠井)  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32



# 共働事業所 もじや

〒064-0808  
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104  
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584  
E-mail:mojiya@npolife.net

-  印刷・編集・制作・出版・企画
-  テープ起こし
-  名刺、小冊子の版下作成
-  ホームページの作成管理



## 『夏である』

工場長 佐藤 哲

初夏になる季節、工場で働いている仲間もひたひたに汗をかき、タオルで顔をふく人もいるぐらい気温があがりました。

仕事のほうも名刺やチラシ、冊子の仕事があり、去年にくらべたら忙しいような気がします。

中橋さんも、もじやにきて3ヶ月位になりますが、印刷の事を教えたり両面機の掃除やいろんな事で私のサポートをしてもらい、たまにはメチャクチャな事をしておこなれながらもがんばってくれています。

平田さんも、最近ですが色インクを作ったりしています。色は作る人の感覚で作るのですが、まだまだ一人ではうまく作れません。少しずつでも色インクを作れるようにスキルアップしようとかがんばってくれています(グチ：ふだんの仕事も早く印刷できればよいのですがねえ。)

制作と印刷の予定を伝達してくれている岩崎さんの入院で、岩崎さんのかわりに永島さんに予定などを教えてもらってます。

かんじんな部数や納期など、教えてくれないことはありますが、今はなんとかですが責任をもって印刷の予定を伝えてもらってます(グチ：永島さんけっこうぬけてます。)

まあなんとか工場の仕事も納期にしたがいクリアしてみんなでがんばってますヨ。

## 『最近あった様々な出来事について』

鈴木 麻依

5月13日(月曜日)

私は妹と2人、家でピーチパイを作りました。私は妹のお手伝いで裏ごしを手伝いました。少し大変だったけど美味しく出来て良かったです。

その後、家族でみんなで試食をしました。最初作った時と比べ、2回目の方が上手く出来て凄良かったです。

5月21日(月曜日)

帰り際、中島公園に桜を観に行きました。他の花も勿論綺麗でしたが、満開の桜は特に綺麗だったので、2~3枚ぐらい写真を撮りました。

6月4日(月曜日)

部分月食を見ました。部分月食自体観たのは初めてだったので、部分月食が変わる様子を1枚ずつ写真に写しました。最初に観た部分月食の時は、オレンジ色をした三日月のように欠けていました。次に観た部分月食は終盤に入っていました。まさに一瞬一瞬の出来事で、貴重な体験が出来て月もとても綺麗な月でした。

「また来年も綺麗な部分月食を近くで観られると良いなあ…」と思っています。



## 『一日の仕事』

工場 平田 信也

私は、名刺やハガキの印刷をしています。

仕事の流れは、製版機から版下を出してそれを永島君に校正してもらってOKがでたらカットして、トンボを消して印刷機につけて、ヤレで見当・天地を合わせて、合ったら本紙に刷る。

刷り終わったら、検品を石川君・真光君・中橋君にやってもらっているのですが、床に落としたりしてるのを見ても、他の仕事を一生懸命やってる所をみると怒れなくなっちゃいます。

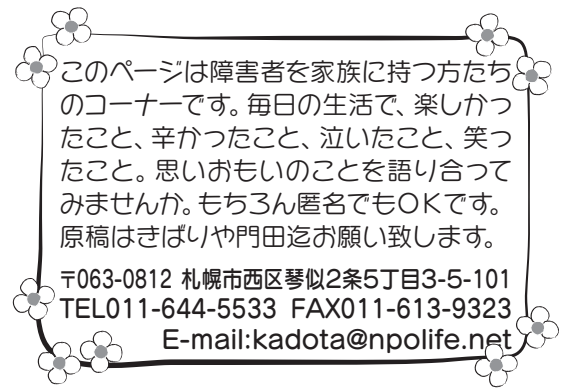
これからも、今まで以上に頑張りたいと思っています。

## 『ローマ字表』

今野 美志

最近でもないが、自分のノートパソコンでローマ字をベタうちをやっている。おぼえるのが必死いつごろマスターできるのだろうか…。





## …\*…\*…\*…\*…\* 障害児と普通学級 \*…\*…\*…\*…

匿名希望さん

感動するようなエピソードなどいっさいなく、読まれる方が期待されるような満足を得られるだろうか…とは思いますが、今回障害者の家族ということで文章を書かせていただくことになりました。なので積み重なった不満ばかりを書き連ねることになり、不愉快に思われる方もいらっしゃるかもしれません。

私の弟は重度の自閉症です。年も少し離れています。生まれてすぐは障害の兆候はみられず、その頃の写真ではとてもかわいい笑顔が見られます。一歳を過ぎる頃には言葉が遅れ、おそらく二～三歳頃に自閉症と診断されたのでしょう。

父は古くて弱い人間なので自分に責任はない、とよく母を責めていました。母も必死に弟を育ててはいましたが、そのしわ寄せが私にくるという流れです。母にとっては夫の協力もなく親族の目もある…思いをぶつける相手が私しかいなかったのでしょうか。子どもにとって母親は絶対的な存在ですから物心ついた頃から母親の顔をうかがうようになっていたと思います。

弟の面倒もよく見ていましたが、それは苦痛ではありませんでした。家庭環境は複雑でしたが成長と共に交友関係が広がり楽しみを外の世界に見出すことができたので、多感な時期を乗り越えられたのだと思います。

この時期で印象に残っていることは、学校から帰って遊びに行こうとした時に、母親に弟と私を置いて一人で遊びに行くのか、というようなことを言われたことです。そう何回も言われた記憶はありませんが、学校から帰って友達の所に遊びに行くという普通のこと、後ろめたさを持った覚えがあります。

弟が生まれた時から遊びも世話もよくしたし、友達と遊ぶ時もしょっちゅう弟を連れて行きました。しかし中学年を過ぎると、女の子が集まって

遊ぶのに弟を連れて行かなくなるのは自然なことです。

私の家庭において、父親は存在するが不在、母親は弟のことしか考えられない…自分のことは自分でやらなくてはいけない、人に助けを求められない、これは今でも私のベースです。

私が小学六年生になったときに、弟が一年生として同じ小学校に入学することになりました。なぜ養護学級もない専門の先生もない同じ学校に無理に入学させるのか…この時にも母親は弟のことしか考えられないのだと思いましたが文句は言いませんでした。

それまで私と人間関係ができていた人たちなら、先生を含め弟の事を誤解はあっても理解をして受け入れてくれていました。しかし交遊のない同級生、理解のない先生はいます。現にこの人たちは、いたずらに無責任で心のない言葉を私に投げかけました。

弟が恥ずかしい訳じゃない、しかし弟が入学する事でいらぬ中傷を受けるのは、家族の誰でもない私なのです。それを母は全く考えなかったのでしょうか。弟の小学校入学の際、校区の小学校には養護学級はありませんでしたし、母は養護学級ではなく普通学級に入学させる事にこだわりました。必死でした。

弟は幼稚園の時からお友達を引っ掻いたり噛み付いたりする重度の自閉症。他の子どもと同じように普通学級に通わせることが本当に弟のためだということか…私は子どもながらに母のその姿勢に違和感を感じていました。

障害児を普通学級で受け入れるべきだという訴えは今でもずっと続いていますね。私が小学生



だった頃から現状は変わっていないのです。そういう記事等を見る度に、私は小学六年生の時から変わらない思いが湧き出てくるのです。障害のある我が子を『普通』の子どもたちと同じ教育の場に入れるべきだというのは親のエゴであると。

少なくとも私の目に母の姿はそう映りました。そういった主張をしている方達全ての考えを正しく見聞きした訳ではありませんし、そうではない方もいるかもしれません。お話を聞く機会があれば考えも変わってくるかもしれません。障害の度合いによっても変わるはずですが。私が言いたいのは、同じ環境にいれる事がダメだという訳ではなく、同じ教育の場に入れる事に無理があるということです。今では支援学級のような形で昔よりは障害児の受け入れも進んでいるのでしょうか。

結局弟は普通学級での受け入れは難しいということで、一年で養護学級のある隣の学区に転校。私は小学校最後の卒業の年に一年間だけ一緒に通った訳ですが、このことに何の意味があったのか…必要なことだったのか。母にとっては普通学級を諦めるための必要な一年だったのでしょう。

しかし私はそうは思いません。『普通』にこだわらず弟に合った環境を探してあげる事が、一番彼のために良かったはずだと思っています。

弟は成長、進学とともに障害の程度も重くなっていき、中学生のときにてんかんの発作も起きるようになりました。節目に何度も前述のようなことはくり返されました。彼の存在は私の結婚・出産にも影響を及ぼしました。離婚もしましたが離婚には影響はありませんでした。(余計ですか?)

今、子どもを育てていて思うことは、親の一番の役目は親のエゴを押し付けるのではなく、障害の有無に関わらず、その子が自分で成長できる環境を探してあげることで、むしろそれ以外に手をかけても子どものためにはならないのではないかということです。

そのためには選択肢もたくさん必要だと思います。私の障害児と普通学級に対する考えはおそらく古いもので知識もありません。今回この文章を書いて特にそう思いました。しかし、障害者の姉として実際に感じたことを素直に書かせていただきました。

## …※……………※……………※…島家の武勇伝…※……………※……………※…

たねや所長 島 明子

今回は島ファミリーについてお話をさせていただきます。

島家は両親と兄が2人と私の5人家族です。兄(次男)は自閉症、不安障害、てんかんというハンディを持っています。しかも糖尿病も患っており、施設に入る前は重量級な体格でした。施設長を始め施設の方にお世話になり、今じゃすっかりスリムボディになり体が軽そうです。

兄は食に対する脅迫観念からか施設から帰省中、なんでもかんでも食べまくり、私に買ってきてくれたお土産も食べちゃいます(笑)

ひどい時は夜中にホットケーキミックスの粉を食べたり、生肉を食べたり、冷凍ピザを冷凍のまま食べたりと数々の武勇伝を更新しています。



夜中、我が家のキッチンに父親というバリケードを張りますが、強行突破してくるようです。父も感心して「すごい勢いなんだわ。」と言って笑っていました。

この現象は温泉旅行へ行っても繰り広げられ、夜中、食を求めて放浪する兄のおかげで家族は寝不足です(笑)

そんな嵐のような日々を経て、兄は6キロほど体重を増やし施設へと帰って行きます(笑)

父親は定年を迎えた頃から、兄の面倒を良くみてるようになりました。母も嬉しいでしょうね。昔は母の教育が悪いと言って批判し、夫婦の連携もなく、その都度母は涙していました。

兄も実家に引きこもっていた頃は、母に対する甘えからか母に手をあげる時期もありました。この時期は私が母を守らなきゃいけないと思っていましたし、兄が憎くて殺意が湧くぐらいで…。

実家を出ていた兄(長男)も父も口だけだと思っていました。

こんなことを書いたら家族に怒られるかもしれませんが書いちゃいます。今ではすっかり仲の良い素敵な夫婦です。奇跡は起こるんですね(笑)

今では石原裕次郎マニアで同じ曲を鬼のようにリピートし、亡くなった親戚写真コレクションを愛している兄をはじめ、島ファミリーを私は愛しています(笑)



NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

# ゆめぴりか



北海道で生まれ育ったゆめぴりか。  
味、ツヤ、甘みのすべてを兼ね備えた最高級米！！  
某スーパーでも、広告の品価格で 5kg 2,380円する最高級米が  
ライフでは **低農薬栽培** で **精米したての分づき米**

**安心・安全!!**      **新鮮!!**      **栄養価たっぷり!!**

もちもち!!

3kg **1,350円**    5kg **2,250円**

と驚きの低価格！！  
この機会にぜひお買い求めを！！

※ ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

**ゆめぴりかの特徴** 適度な粘りと甘みがあり、コシヒカリほどべたつきがなく、口に入れたときのモチモチ感、ふっくら感も十分で、大満足の食感です。炊きあがりの見た目も最高評価です！！

**分づき米とは？** 玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「分づき米」。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいとこ取り”の分づき米が、今大きな注目を集めています。白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

**本田農場生産の低農薬栽培は？** 除草剤・イモチ防除剤 各1回のみ散布して栽培しています。

お買い求めは

**こころや**  
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

**コン・ブオ ひだまり** ☘️🐱  
札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F  
TEL:011-615-4131 FAX:011-615-4132

共働サービス **たねや** 🌱  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F  
TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088

# cafe de kibariya



自慢のオリジナルコーヒーをギュッと詰めた

## ドリップパック

が出来ました。

朝の忙しい時間でも、  
**簡単・早い・美味しい**  
コーヒーが楽しめます。



袋の封を切ると、とても良い香りが広がり、美味しさは申し分なしです。  
お湯を注ぐだけで、簡単に香り・美味しさを楽しめるドリップコーヒーはいかが？！

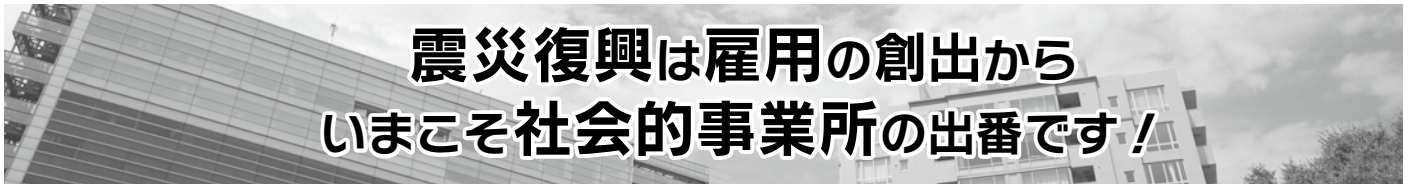
お買い求めは NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

**Cafe de キバリヤ**    共働事業所 **きばりや**

☎️060-0808      ☎️063-0812  
札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F      札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F  
TEL/FAX : (011)758-6533      TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

バラ売 1コ    1袋 7コ入    1箱 7コ入  
**90円**    **590円**    **630円**





npolifebooks

NPO ライフ  
びっぼろ人間福祉  
ブックレット

02

誰もが働ける社会を

講座  
「障害者等の雇用を考える  
社会的事業所の役割」報告集

公は制度がないと動かないし、儲からないと  
民は動かないけど、公でもない民でもない、  
この社会の我々の生き方というのを  
とりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

——— (株)ナイス代表取締役 富田 一幸

昨年1月に開催したセミナー  
「障害者等の就労を考える  
社会的事業所の役割」の  
講演記録が出来ました！

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的  
事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か？

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2  
『誰もが働ける社会を』 2011年6月30日発行  
定価 1,000円(送料別) A5判 140 ページ



npolifebooks

さっぼろ人間福祉  
ブックレット

01

この秀ルース  
加藤 孝

この秀ルース  
加藤 孝

講演録

収容施設は  
もういらな  
いと思っ  
てまで

NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

私たちは「福祉」という言葉を好まない。それは、  
「福祉施策」を必要とする人たちを見下したときに使わ  
れることが多いように感じられるから…

本来『「人間福祉」であるべき「福祉」が、今、「制  
度としての福祉」になりさがっている』という社会福祉  
法人この実会の加藤孝さんの言葉に触発され、『さっぼ  
ろ人間福祉ブックレット』を発行する。

NPO ライフブックレット No.1 2008年8月31日発行  
『収容施設はもういらな  
いと思っ  
てまで』  
定価 840円(送料別) A5判 72ページ

●お申し込み

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F  
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323  
mail:honbu@npolife.net  
H P:http://npolife.net/

今年もやってきました  
そば三めんの季節!!



長崎島原名産

蔵田本格手延べ

島原手延そば

ひやむぎ

「細さ」  
「舌ざわり」  
「こし」  
伝統の味わいを心ゆくまで  
お楽しみ下さい。

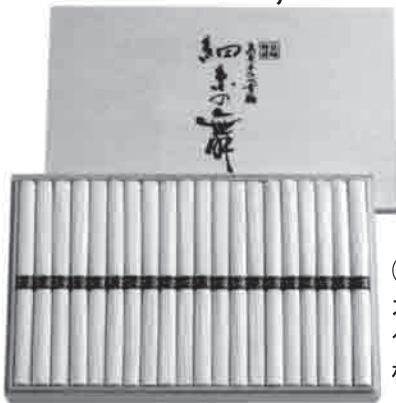
ご注文承ります!!



①ひやむぎ・麦作  
化粧箱・1500g詰 (150g×10束)  
包装外寸=297×240×39mm  
標準小売価格 1個 ~~3,675円~~  
**2,550円**



②そうめん・夏ごごろ  
化粧箱・1800g詰 (50g×36束)  
包装外寸=318×220×42mm  
標準小売価格 1個 ~~4,200円~~  
**2,850円**



③そうめん・細糸の舞  
木箱・2000g詰 (50g×40束)  
包装外寸=335×210×47mm  
標準小売価格 1個 ~~5,250円~~  
**3,550円**



製造元  
島原手延素麺協同組合

発売元  
NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
共働サービス たねや  
〒063-0804  
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階  
TEL 613-0611 FAX 644-0088

島原の手延そばは、全国の生産量の約三割を占め、現在では、全国のデパートで夏の売れ筋商品として、発売されております。  
私共の商品は、三六〇年に及ぶ島原の手づくり技術の粋をつくしたものでございます。  
食すれば口の中で舞うがごとく、のど元を流れ、舌ざわり、こし、のどの通り、どれをとりにしても、ご満足頂けるものと存じます。  
又、味付け、調理法とも工夫次第で色々なおいしさが発見できます。  
暑い夏、島原の手延そばを食べて、すっきりさわやかなひと時をお過ごし下さい。  
長い伝統と独特の技術で製造された島原手延そばは、ご家庭で、また、ご贈答品としては最適と存じます。

《おいしいゆで方》

そうめん

多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。  
ゆで時間は2分程が標準です。  
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早くお召し上がり下さい。

ひやむぎ

多めの沸騰したお湯にめんをバラバラと入れ、軽くかきまぜます。  
ゆで時間は4分程が標準です。火を止め、3分程むらします。  
お好みのゆで加減を確かめてザルに上げてよく水洗いして下さい。尚、ゆで上がり後はなるべく早くお召し上がり下さい。

# 商品注文書

# No.

**※取り扱い事業所**

NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

## 共働サービス たねや

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階  
 TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088  
 taneya@npolife.net

- 商品番号は裏面を参照して、お申し込み下さい。
- 住所・氏名の難しい漢字には、フリガナをお願いいたします。
- 郵便番号・電話番号（市外局番含む）は、必ず記入して下さい。

# FAX(011)644-0088 入金後の発送となります

お支払い方法（番号を○で囲んでください）

1. **現金**（代引はお取り扱いしておりません）
2. **銀行振込**／北洋銀行 琴似中央支店 (普)口座番号：4616684  
 特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ  
 共働サービス たねや 理事長 我妻 武  
 (振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

品 名	値 段	個 数	金 額	備 考
① ひやむぎ・麦作	2,550 円	個	円	
② 夏 ご ころ	2,850 円	個	円	
③ 細 糸 の 舞	3,550 円	個	円	
	合 計	個	円	総合計金額
	送 料		円	円

※送料は、市内・道内は5個まで1件につき500円、道外は1000円負担になりますのでご了承ください。  
 6個以上は5個毎に200円の追加料金がかかります。（離島・沖縄は実費送料必要です）

※全て消費税込みの金額となっております。

申 込 者	住 所	〒		
	フリガナ	-----		
	名 前			
	電 話		FAX	
お 届 け 先 ①	住 所	〒		
	フリガナ	-----		
	名 前			
	電 話		商品番号	
お 届 け 先 ②	住 所	〒		
	フリガナ	-----		
	名 前			
	電 話		商品番号	



私のオススメ

「経済成長神話の終わり」  
— 減成長と日本の希望 —

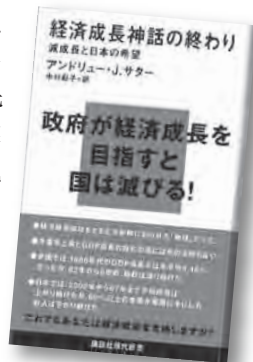
専務理事 石澤 利巳

タイトルを見ると、経済の専門書かと思うのですが、私の感想は、閉塞感漂う世界状況を、「減成長」というキーワードで読み解き、日本社会の進むべき道を示唆する哲学書の様なものでした。といて、けて難しい内容ではありません。如何に私たちが経済成長神話に惑わされてきたのかを、様々な事例を持って証明してくれています。

環境破壊、労働疎外、社会的格差等々の問題は、経済成長の結果生み出されてきたものであり、その先には「ハピネス(幸福)」はない。「我々のハピネスは、近代経済学が教えるような個人的利益の充足ではなく、他の人との関わり、特に属するコミュニティでの人間関係によるとというのが、その基本的な考え方だ」と、共生の必要性を訴えています。

本書には、「社会事業」(社会的事業所と言いつい換えてもいいでしょう)についても書かれています。西欧で広がる「社会事業」は、「獲得した収益を、何らかの理由で不利な状況にあるグループへの支援に使うなど、社会の問題解決に使う」「もともとの目的がホームレスの支援であるのなら、たとえ収益が落ちたとしても、従業員としてホームレスを雇う事もあり」。つまり、「ビジネスの質が、稼ぎ出す収益という量よりも、優先される」という、社会的事業所の考えがわかりやすく説明されています。

講談社現代新書  
著者/アンドリュー・J.サター  
訳/中村起子  
本体 880円(税別)



ご協力ありがとうございます

アドボケ購読料

石田 章 様  
近藤 邦雄様  
藤田 綾子様  
高橋 秀樹様  
海老名 節子様

寄付金

佐藤 均 様  
石田 章 様  
佐藤 隆 様  
斎藤 規和様  
山本 价則様  
織本 英子様  
横路 由美子様

賛同会費

小川 勝也様

NPO法人ほしの里 大友 勝美様 社会福祉法人 札幌このみ会様

～ライフカンパのお願い～



NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して23周年(法人化して12年)を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、昨年末から皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。

ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

振り込み先

- 北洋銀行 琴似中央支店 普通預金 4606735  
加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武
- 札幌信用金庫 琴似支店 普通預金 3296744  
加入者名 特定非営利活動法人  
札幌障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武
- ゆうちょ銀行 振替口座 02710-4-63485  
加入者名 NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

編集後記

6月末、しばらくぶりに十勝の実家へ行ってきました。札幌からは妻の運転する車で出かけましたが、高速で約3時間に到着。高速は「熊が走っている」と国会でも話題になり、それに怒った議員もいますが、やはり便利です。聞くところによれば、十勝管内の町村から帯広の病院へ急患を搬送するのにも役に立っているそうですから、こうしたことを加味すると見方も変わります。実家では、両親とお墓参りや買い物など、ちょっとした親孝行でした。両親の住んでいる所でも買い物をするには車がないと不便で、運転できない高齢者は買い物難民です。それに旧商店街はシャッター通りで、農家も大変。政治に期待は出来るのか……(タケ)

アドボケイト 文月号(第140号)

2012年7月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第484号  
1973年1月13日第3種郵便物認可  
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会  
細川 久美子  
〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18  
編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ  
理事長 我妻 武  
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F  
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323  
E-mail honbu@npolife.net  
ホームページ http://npolife.net/  
郵便振替口座 02710-4-63485  
定価 100円